



巻頭詩

まど・みちお(詩人・児童文学者)

まど・みちお(1909年11月16日~2014年2月28日)山口県生まれ。台北工業卒。国際的な評価も高く、「国際アンデルセン賞作家賞」その他多くの賞を受賞。著書に「ぞうさん」や「やぎさんゆうびん」などの、そのおおらかでユーモラスな作品は童謡としても親しまれている。動物に関する詩20編は美智子皇后が英訳するなど話題になりました。掲載の詩は「宇宙のうた」より、作者の快諾を生前に得て掲載。今後も紹介していくつもりです。

■もうすんだとすれば

もうすんだとすれば これからなのだ
あんらかなことが 苦しいのだ
暗いからこそ 明るいのだ
なんにも無いから すべてが有るのだ
見ているのは 見ていないのだ
分かっているのは 分かっていないのだ
押されているので 押しているのだ
落ちていきながら 昇っていくのだ
遅れすぎて 進んでいるのだ
一緒にいるときは ひとりぼっちなのだ
やかましいから 静かなのだ
黙っている方が しゃべっているのだ
笑っているだけ 泣いているのだ
ほめていたら けなしているのだ
うそつきは まあ正直者だ
おくびょう者ほど 勇ましいのだ
利口にかぎって バカなのだ
生れてくることは 死んでいくことだ
なんでもないことが 大変なことなのだ



- 目次 ★ (P2) 会員のみなさま、会友のみなさま ★ (P2) 2021年度 役員人事のお知らせ
★ (P3) 初めて、海外と文化を交流する会の履歴を知る方へ
★ (P4~5) 令和2年度会計報告 ★ (P6~7) 令和3年度事業予算、事業計画(案)

会員のみなさま 会友のみなさま

会への温かいご理解、ご支援に心からの感謝を申し上げます。

2020年1月以降、新型コロナウイルスが世界に蔓延し、人が集うこと自体ができなくなってしまい会報発行による活動報告が大幅に遅れましたこと、深くお詫びいたします。

定例の理事会はオンラインにての開催を続けてまいりました。

2021年度事業計画案をご参照いただけますと、自粛状況下でも可能な活動、例えばHPの充実としては、英文HPが実現となります。

当会の貴重な歴史の英文説明も、会の存在の重要性を誰よりも深く理解し心を寄せるGish会長にしか書けない貴重な英文となっております。

私どもは小さな団体ではありますが、日豪の強い絆を育むことが両国の子どもたちの未来にとって、ますます重要な礎になると信じています。

どうぞ今後とも、皆さまのご理解とご支援を賜ることが出来ますようお願い申し上げます。

海外と文化を交流する会 理事一同

2021年度 役員人事のお知らせ

会 長 George・W・Gish

専務理事 松岡裕子

常務理事 松岡恒太郎 松田洋子

理 事 霧生敦史、羽鳥修造、西山元章、角谷滋、大谷淑子、山田雅子

監 事 下村トシ子

訃報

理事の山田悦弘氏が、2021年4月27日に永眠されました。1977年の日本画25点のメルボルンへ向けての出航祝賀レセプションにご出席以来、長きに亘りお世話になりました。謹んでお悔やみ申し上げます。

初めて、海外と文化を交流する会の履歴を知る方へ

当会は、

1968年に、外務省認可の非営利団体として、故松岡朝女史によって設立されました。

「心の文化で世界と結ぶ」が設立の趣旨でした。

1977年に、日本画巨匠による25点の日本画を、オーストラリアへ寄贈して以来、現在も日豪の絆を深める活動を継続中です。日本文化の神髄と日本の心を異文化の国に理解してもらうのには、こちら側の長い年月の絶えざる熱意が必要であることを、私たちは今、身をもって学んでおります。

これまでの主な活動：

- ・スペイン美術展（銀座松屋デパートにて）
- ・月面着陸の講演会など多数
- ・オーストラリア国民へ現代日本画巨匠による作品25点を寄贈（1977）
- ・外務省要請にて米国主要都市での日本文化紹介（能、狂言、陶芸、友禅、和紙、太鼓など）
- ・児童画展（日露、日ニュージーランド）
- ・ミニチュア展
- ・ニュージーランド国民へ現代日本画巨匠の作品16点寄贈（1981）
- ・バングラデシュ医療に貢献の宮崎亮医師支援（1990－2006）
- ・在日留学生奨学金支給（1991－2004）
- ・チャリティーコンサート（1987－2019 計45回）

■ なぜ、大国オーストラリアとの友好に励んでいるのか？

創設者・松岡朝は日本の子どもたちの未来を、生涯を通して案じた人でした。「オーストラリアにあるものは日本に無く、日本にあるものはオーストラリアに無い」と言われています。資源の豊かなオーストラリアと歴史ある日本とは、互いが末永く助け合える国だと思います。

私たちは、子どもたちに少しでも、より良い日本を残したいとの信念から、微力ながらオーストラリアとニュージーランドとの友好に努める活動を続けています。

みなさまのご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

令和2年度(2020年度) 収支計算書
令和2年(2020年)4月1日～令和3年3月31日

単位:円

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収入の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入	200,000	144,230	▲ 55,770	
②事業収入	0	0	0	
つどい事業	0	0	0	
国際交流事業	0	0	0	
会報発行事業	0	0	0	
講演会・音楽会事業	0	0	0	
その他事業	0	0	0	
③補助金収入	0	0	0	
補助金	0	0	0	
④寄付金等収入	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
募金	0	0	0	
⑤雑収入	5	1,276,710	1,276,705	
受取利息	5	9	4	
その他の雑収入	0	1,276,701	1,276,701	
全事業活動収入 計	200,005	1,420,940	1,220,935	

科目	予算額	決算額	差異	備考
II 事業活動支出の部				
1. 事業支出				
①事業費支出	190,000	0	▲ 190,000	
つどい事業	50,000	0	▲ 50,000	
国際交流事業	100,000	0	▲ 100,000	
会報発行事業	40,000	0	▲ 40,000	
講演会・音楽会事業	0	0	0	
その他事業	0	0	0	
②管理費支出	197,000	253,563	56,563	
法人税	70,000	70,000	0	
諸謝金	20,000	30,000	10,000	
会議費	10,000	0	▲ 10,000	
交通費	10,000	0	▲ 10,000	
通信費	20,000	116,655	96,655	
家賃	0	0	0	
光熱費	20,000	20,000	0	
図書印刷費	0	0	0	
消耗品費	5,000	6,530	1,530	
広告宣伝費	6,000	5,148	▲ 852	※レンタルサーバー・ドメイン
交際費	10,000	0	▲ 10,000	
支払手数料	20,000	110	▲ 19,890	
租税公課	0	1,500	1,500	
雑費	6,000	3,620	▲ 2,380	
③寄付金支出	20,000	0	▲ 20,000	
事業活動支出 計	407,000	253,563	▲ 153,437	
III 投資活動支出の部	0	0	0	
IV 財務活動支出の部	0	0	0	
V 予備費支出の部	50,000	0	▲ 50,000	
当期支出合計	457,000	253,563	▲ 203,437	
当期収支差額	▲ 256,995	1,167,377	1,424,372	
前期繰越収支差額(前期決算値)	876,767	876,767	0	
次期繰越収支差額	619,772	2,044,144	1,424,372	

財産目録
令和3年(2021年)3月31日現在

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金			
現金	860,216		
普通預金			
三菱東京UFJ銀行渋谷支店通常口	1,677,469		
三菱東京UFJ銀行渋谷支店イベント口	553,959		
ゆうちょ銀行018ゆうちょ口	2,500		
流動資産合計		<u>3,094,144</u>	
2. 固定資産			
定期(旧 特定資産)	0		
固定資産合計			<u>0</u>
資産合計			<u>3,094,144</u>
II 負債の部			
1. 流動負債			0
未払金			0
前受金			0
仮受金		1,050,000	
借入金			0
流動負債合計		<u>1,050,000</u>	
負債合計			<u>1,050,000</u>
正味財産合計			<u>2,044,144</u>

注) 仮受金は全額 松岡裕子より

貸借対照表
令和3年(2021年)3月31日現在

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	3,094,144	1,926,767	1,167,377
流動資産合計	<u>3,094,144</u>	<u>1,926,767</u>	<u>1,167,377</u>
2. 固定資産			0
定期(旧 特定資産)	0	0	0
固定資産合計	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
資産合計	<u>3,094,144</u>	<u>1,926,767</u>	<u>1,167,377</u>
II 負債の部			0
1. 流動負債			0
未払金	0	0	0
前受金	0	0	0
仮受金	1,050,000	1,050,000	0
借入金	0	0	0
流動負債合計	<u>1,050,000</u>	<u>1,050,000</u>	<u>0</u>
負債合計	<u>1,050,000</u>	<u>1,050,000</u>	<u>0</u>
III 正味財産の部			0
1. 正味財産	2,044,144	876,767	1,167,377
正味財産合計	<u>2,044,144</u>	<u>876,767</u>	<u>1,167,377</u>
負債及び正味財産合計	<u>3,094,144</u>	<u>1,926,767</u>	<u>1,167,377</u>

注) 仮受金は全額 専務理事 松岡裕子より

令和3年度(2021年度) 収支予算書
令和3年(2021年)4月1日～令和4年3月31日

単位:円

科 目	2021年度予算額	前年度予算額	差異(当年－前年)	備 考
I 事業活動収入の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入	200,000	200,000	0	
②事業収入	0	0	0	
つどい事業	0	0	0	
国際交流事業	0	0	0	
会報発行事業	0	0	0	
講演会・音楽会事業	0	0	0	
その他事業	0	0	0	
③補助金収入	0	0	0	
補助金	0	0	0	
④寄付金等収入	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
募金	0	0	0	
⑤雑収入	5	5	0	
受取利息	5	5	0	
その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入 計	200,005	200,005	0	

科 目	2021年度予算額	前年度予算額	差異(当年－前年)	備考
II 事業活動支出の部				
1. 事業支出				
①事業費支出	130,000	190,000	▲ 60,000	
つどい事業支出	50,000	50,000	0	2021年度内1回開催 奈良市出張2回
国際交流事業支出	60,000	100,000	▲ 40,000	
会報発行事業支出	20,000	40,000	▲ 20,000	
講演会・音楽会事業支出	0	0	0	
その他事業支出	0	0	0	
②管理費支出	289,000	197,000	92,000	
法人税	70,000	70,000	0	
諸謝金	30,000	20,000	10,000	
会議費	0	10,000	▲ 10,000	
交通費	10,000	10,000	0	
通信費	112,000	20,000	92,000	
支払家賃	0	0	0	
光熱費	20,000	20,000	0	
図書印刷費	0	0	0	
消耗品費	6,000	5,000	1,000	
広告宣伝費	6,000	6,000	0	
交際費	10,000	10,000	0	
支払手数料	20,000	20,000	0	
租税公課	0	0	0	
雑費	5,000	6,000	▲ 1,000	
③支払寄付金	0	20,000	▲ 20,000	※福島子供支援募金
事業活動支出 計	419,000	407,000	12,000	
III 投資活動支出の部	0	0	0	
IV 財務活動支出の部	0	0	0	
V 予備費支出の部	50,000	50,000	0	
当期支出合計	469,000	457,000	12,000	
当期収支差額	▲ 268,995	▲ 256,995	▲ 12,000	
前期繰越収支差額(前期決算値)	2,044,144	-	-	
次期繰越収支差額	1,775,149	-	-	

2021年度（令和3年）事業計画書（案）

2021年4月1日～2022年（令和4年）3月31日

2020年1月以来、コロナ・ウイルスが世界で猛威を振るい、人が集うこと自体ができなくなった為、当会の活動も大幅に制約を受けている。

国際交流事業（定款4条1項）

- A) キャンベラのNGAへの日本画の移管は完了したが、引き続き当会の悲願である贈呈日本画の数点なりの常設を強く希望したい。直近での常設は難しいと考えるが企画展(例:季節、婦人画、建物、寺)での展示予定など、西村氏経由でNGAでの展示計画の現状確認をお願いする。
- B) キャンベラと奈良市の姉妹都市30周年記念(2023年度)についても、コロナのため、2021年は特に進展はない模様。但し、現地キャンベラでの話題や、日本大使館でのトピックなどはニュースとして把握する必要があり、西村氏から情報を得たい。
- C) 日本画をより深く知ってもらうため、豪州の芸術専攻生の日本への短期招聘基金の利用探索(Colombo Planなど)を進める。そのためにもCanberraの大学、駐豪日本大使の協力を得たい。

HPの充実（定款4条4項）

- A) 英文による当会紹介ダイジェスト版および、松岡朝物語 chapter15の英訳をHPに2021年12月までに掲載すべく準備を進める。
- B) 2016年60号の会報より、著作権絡みで中断している会報を順次掲載を進める。

つどい（定款4条2項）

- A) つどいの一環として西村氏をゲストに迎え、文化的視点を中心に、過去、現在、未来でお話いただきたく依頼をする。
- B) 元山種美術館の高橋美奈子氏(国立文化財機構文化財活用センター兼東京国立博物館学芸企画部)につどいで、現在のお仕事の話をしていただくべく依頼する。
→西村氏にもシドニーから参加いただき、30NCSCFの展示考察のヒントにしていきたい。(https://cpcp.nich.go.jp/)

会報発行（定款4条4項）

2021年10月に会報をお送りできるように準備をおこなう。

チャリティーコンサート（定款4条4項）

これまで40回以上のコンサート開催の中心的役割を担った専務理事の高齢化とコロナの影響により、今後の開催は未定とする。

東京ハルモニア室内オーケストラ支援（定款4条4項）

引き続き支援する。

以上

会費納入のお願い

年会費納入をお願いいたします。子ども達に、より良い日本を残すための当会の活動内容は現在まで高く評価されて参りました。これも皆さまのご理解があればこそでございます。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

日本にあるものはオーストラリアには無く、オーストラリアにあるものは日本には無いと言われており、友好を深め、相互協力を推進することが重要な意味を持つ関係にあります。日本にとり、オーストラリアはますます大切な存在になっています。日豪両国の芸術専攻生の教育交流の発展をめざし、オーストラリアやニュージーランドとの絆を深めて参りたいと思います。是非ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

郵便振替 00130-2-366249 一般社団法人 海外と文化を交流する会
銀行振込 三菱UFJ銀行 渋谷支店 (普) 0026193 海外と文化を交流する会
会費 10,000 円 (正会員) 5,000 円 (特別賛助会員) 3,000 円 (学生会員)

海外と文化を交流する会 事務局
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-27-6 パインヒル内
TEL & FAX 03-3370-7654 e-mail: official @ kaigai-bunka.org
<http://www.kaigai-bunka.org>